

平成 27 年度 第 2 回 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会

議 事 録

日時：平成 2 8 年 3 月 3 0 日（水）

1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0

場所：飛島村役場 2 階 第 3 会議室

1. 開会

○事務局

定刻になりましたので、ただいまから平成 27 年度第 2 回飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を始めさせていただきます。わたくし、事務局を務めさせていただきます、企画課の佐野でございます。よろしくお願いします。

会議に先立ちまして、当法定協議会会長の飛島村長から開会のごあいさつを申し上げます。

○久野会長（飛島村長）

【開会挨拶】

本日は、ご多用のところ飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会にご出席賜り厚くお礼申し上げます。年度末のお忙しい中で本協議会を催すことについてお詫びさせていただきます。お陰さまで、皆様のご協力のなかで順調に事業が推移できています。

今回は、コミュニティバスの廃止からの蟹江線への利用転換の状況や本年度の補正予算、来年度予算などについてご議論をいただきたく存じます。

当協議会によるバス事業は、多数の皆様にご利用いただけるよう常に事業の見直し、改善を行っていくことが大切であると思っております。

皆様方の専門性のご経験をもとに、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが、開会のごあいさつとさせていただきます。

○事務局

ありがとうございました。

それでは、資料の確認をさせていただきます。本日の資料は、事前に送付させて頂いておりますが、会議次第の下段一覧にあります議案第 1 号から 3 号、資料 1 から資料 3 となります。

当協議会は、協議会会議運営規程に基づき会議録を開示させていただきますのでよろしくお願いいたします。

なお、本日は、定数の過半数を超える委員のご出席を頂いておりますので、協議会設置要綱に定める会議としての成立要件を満たしておりますことを申し添えます。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

次第に従いまして進めさせていただきます。

初めに議事録署名人を選任させていただきます。偕行会リハビリテーション病院事務部長澤田様、名古屋近鉄タクシー蟹江営業所長水谷様を選任します。よろしくお願い致します。

それでは、「2. 報告事項」の「(1) 飛島公共交通バス利用実績」について、事務局からの

報告をお願いします。

2. 報告事項

(1) 飛島公共交通バス利用実績について

○事務局

資料説明

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ありがとうございます。コミュニティバスを廃止し、1年間の実績を確認した。ご質問、ご感想、ご意見ありますか。

わたしから感想ですが、約15%の増加している。運輸支局の専門官、県の担当者が出席されていますが、約15%の増加の事例はほとんどないのではないかと。優等生のような気がします。順調にご利用されていると思う。来年以降もずっと増えるということにはならないと思いますが、子どもなどが減少していくなかで増加ですので、良かったのではないかと。

利用者のアンケート調査の報告もあり、より一層の利用が進むように検討を進めたい。

宜しいでしょうか。特にご意見ないので、確認いただいたとして、次の議事に移ります。

(2) 飛島村公共交通バス検討委員会での検討状況報告について

○事務局

資料説明

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ありがとうございました。バスロケーションシステムについて検討委員会での協議状況について、説明いただいた。ご質問、ご意見ありますか。

これ以上の公的投資はいかなものかという考えから、形成計画には記載しなかった。それが1年前。検討委員会では、継続協議事項としたいとのこと。

ICカードの導入、その他の施策展開などもあり、1年間の協議では結論がだせなかった。来年度の検討委員会で議論し、まとまった段階で、法定協議会に報告することとしたい。

そのような報告で宜しいでしょうか。

意見がなければ、了承頂いたとして、継続協議としたいということでもよろしくお願ひしたい。投資費用、メンテナンス費用もかかるため、中身をつめた議論をしてもらいたい。そのような方向で進めさせて頂くとして確認し、次の議事に移ります

(3) 蟹江線利用者アンケート調査結果について

○事務局

資料説明

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ありがとうございました。今年の2月12日に利用者へのアンケート調査をしていただいた。ご意見等いかがですか。

○小林委員代理（愛知県振興部交通対策課）

初めて参加させていただいた。アンケート調査を実施する時に、バスロケーションシステムの導入について確認しなかったのか。

○事務局

バスロケーションシステムは、まだ検討段階であり、導入について聞くことは尚早と判断した。聞いていない。

○牧野委員（愛知県海部建設事務所）

その他自由意見について、運転手の運転技術、お釣りがないということについては、自分の経験から考えると、この点はサービス向上からは是非対応をお願いしたい。

○事務局

アンケート調査結果が整理できた段階で、交通事業者、運転手に再度対応をお願いした。お釣りの対応については、指摘以降準備いただいている。

○牧野委員（愛知県海部建設事務所）

資料２に関係することですが、第１回の検討委員会で発言されている内容は、バスを利用する人間にとっては、対応してほしいこと。紹介されている事例は立派なものなので、バス停に設備がなくてもＱＲコードさえあれば情報入手できるものもある。

安城市の掲示版などは、広告掲示を行い、広告収入を確保してもよい。

ＩＣカード対応は、他地域でも議論されている。ただし、ネットワークシステムの参加の負担金が大きく、中小の事業者では対応できないということを聞いたことがある。

こうした内容は、県の交通対策の問題だと思う。財政支援について、身にしみて感じることで、是非議論をしていただきたい。

○事務局

バスロケーションシステムについて、さらに経費の安いものがないか情報収集している。ＮＴＴデータのシステムなどがあるが、使用する車両を特定しておかないといけないため、予備車両の関係など具体的に検討していきたい。

ＩＣカード化もすべての車両で導入するのか、段階的に対応するなど、具体的な議論ができるようにしておきたい。

○澤田委員（偕行会リハビリテーション病院）

運行状況はホームページで報告されているのか。

○事務局

運行状況については、緊急情報としてホームページで提供することとしています。雪の時も報告しました。

○笠井委員（三重交通㈱桑名営業所）

三重交通では、全路線バスについて、４月１日からＩＣカード化への対応導入する予定です。

飛島バスが仮に導入するには、三重交通の車両を使用しているので、三重交通の仕組みに近いシステムになります。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

蟹江線は、三重交通の車両を使用していますので、三重交通と相談、調整することになります。導入については、検討事項です。

○笠井委員（三重交通㈱桑名営業所）

アンケートの指摘について、乗務員に対するサービス向上の教育研修、対応をさせていただきます。

○加藤委員（飛島村議会議長）

満足度の定時性について、遅れる理由について、具体的に理解しているのか。

○事務局

朝の渋滞持の信号における右折車両の有無、近鉄の踏切、ロータリー内の一般車両の駐停車の影響から遅れている。

○加藤委員（飛島村議会議長）

県道の右折車は、道路の構造的な問題だろう。過去対応はしてきたのか。

○事務局

道路が1車線しかない。県道であり、村ではなんともしようがない。

○加藤委員（飛島村議会議長）

物理的にできないことか、交渉すればなんとかなるのか。交渉して対応できるなら、バスロケーションシステムの導入も必要がなくなるだろう。

○事務局

道路について、以前自分も建設課で担当した時には、道路整備は時間がかかる。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

道路整備は、お金、時間のかかること。なかなか難しい。県建設事務所の委員も参加されているので、口添えいただけると助かります。渋滞問題は、一朝一夕に対応できるものではない。

ダイヤの遅れについては、来年度実態調査をしてもらえないか。データを入手してもらいたい。バスロケーションシステムの導入検討にあたって必要な情報です。

他にご意見ありますか。

自由意見について、利用者側の問題として1万円しかもたないでバスは利用しない、運行しているのかわからないというのはHPで情報発信していることは知っておいていただきたい。利用者側にも知ってもらうために、情報発信をお願いしたい。

利用者が増えてくると、シビアな意見も増えてくる。サービスをあげても、もっと高いサービスを求められることになる。満足度で示された問題について、対応していく努力をしよう。

データを入手し、住民への報告をしていく。以前、バス便りを作成していただいた。利用者が増えてきたことからさらなる情報発信をお願いしたい。

○牧野委員（愛知県海部建設事務所）

この会議に参加するにもバスを利用したが、ダイヤと会議の開始時間がずれていた。会議時間をずらしてもらうとバスの利用が便利に感じる。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

会議の案内状には、役場に到着するバスのダイヤを紹介しておく。そうした工夫すると、案内状をみた人はバスの対策をしていると理解してくれる。是非考えてください。

○小林委員代理（愛知県振興部交通対策課）

ＩＣカード化について、飛島バスの三重交通の車両内では、飛島バスは使えない旨の周知がされるのか。対応していない旨の掲示をしたほうがよいのでは。

○笠井委員（三重交通㈱桑名営業所）

自主路線だけの利用に限ります。車検などで、車両を流用するため、注意したい。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

間違いがあると大変なので、あまり時間がないが対応をお願いしたい。

よろしいでしょうか。

報告事項ではありますが、大変良い意見を頂戴したので、事務局としては対応できるものを進めてください。

3. 議事

●議案第1号 平成27年度飛島公共交通バス自己評価について

○事務局

資料説明

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ありがとうございました。自己評価についてご説明いただきました。ご質問、ご意見ありますか。形成計画を策定して、PDCAを行うことを位置づけた。補助金の有無にかかわらず、公共交通の改善に向けてPDCAを実施する、中部運輸局の様式にならって作成しています。

○小林委員代理（愛知県振興部交通対策課）

6頁海南病院通院支援タクシーの苦情なしという部分は、表現を確認してください。

○事務局

村だけでなく、事業者等にも苦情はありません。表現します。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

病院通院支援タクシーは、他の地域でも導入が進められている。買い物の乗合率は高まるが、病院利用は乗合率が高くない。自分も病院に行くには、他の人と乗りあうのは躊躇する。乗合率を上げるには難しいかもしれない。

デマンドの仕組みは、利用者がふえると事業費が増える仕掛けがある。頑張って増やそうとすると事業費が増えるので、議会の理解がないと進められない。

午後の予約便の追加も医療制度の変更がある。交通の仕組みだけでなく、医療制度など、生活の制度の変更があるので、交通も柔軟に対応することが重要だろう。交通は生活の支えとなるので、柔軟な対応をお願いしたい。

○飛島村長

タクシーの時間を後ろにずらしてほしいという意見があるが、対応はできるか。

○水谷委員（名古屋近鉄タクシー(株)桑名営業所）

特に問題はないと思います。

○飛島村長

1時間ぐらい後ろのダイヤを確保することについて、調整をお願いしたい。

○澤田委員（偕行会リハビリテーション病院）

海南病院はかかりつけ医ではなく、専門医療。かかりつけ医からの紹介で、予約診療になる。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

予約の時間に便がないと使えない。医療制度の変化に柔軟に対応してください。

自己評価については、この会議を通してずっと確認していきたい。毎年実施し、改善の方向を見つけていきたい。事務局としての評価結果の提案ですが、その他意見なければ、了解いただいたとしますがよろしいか。

< 異議なし >

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ありがとうございました。バス便りの作成もお願いします。全員の同意を頂いたとして次の議事に移ります。

●議案第2号 平成27年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会収支補正予算について

○事務局

資料説明

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ご質問、ご意見ありますか。よろしいですか。ご意見なければ、全員の同意を頂いたとしてよろしいか。

< 異議なし >

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ありがとうございます。全員の同意を頂いたとして次の議事に移ります。

●議案第3号 平成28年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会事業計画及び収支予算について

○事務局

資料説明

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

28年度の法定協議会の事業計画、収支予算です。ご質問、ご意見ありますか。

よろしいでしょうか。ダイヤの運行状況のデータをとってください。あまり調査費をかけずに、実態確認をお願いします。

○事務局

交通事業者側でデータをもっていないか。

○笠井委員（三重交通㈱桑名営業所）

ドライブレコーダーなどがあるので、データが取れないか確認します。

○小林委員代理（愛知県振興部交通対策課）

駐輪場の整備について、予算は確保しないのか。

○事務局

予算をかけずにこれまで対応してきた。昨年度はJ Aに協力頂いた。お金をかけずに対応していきたい。

○小林委員代理（愛知県振興部交通対策課）

バス車両の広告収入は予算化されないのか。

○事務局

広告収入は、事業者への委託費の中で処理をしており、収入費目は計上されない。

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

その他質問はないでしょうか。特に無いようです。了承頂いたということによろしいか。

< 異議なし >

○伊豆原座長（愛知工業大学客員教授）

ありがとうございます。了承頂いたとします。

本日の議事は以上です。次の次第に移ります。

4. その他

○事務局

来年度は、バス検討委員会を開催し、利用者の利便性向上等について協議します。協議結果はご報告させていただきます。

また、当法定協議会の次回会議は、来年度6月下旬頃に開催させていただく予定です。

事務局からは、以上です。委員の皆様方から、その他ございますか。

無いようなのでこれで法定協議会を閉会させていただきます。

5. 閉会

○事務局

以上で飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を終了します。ありがとうございました。

なお、お帰りの際には、くれぐれも交通事故に気をつけてお帰りくださるようお願いいたします。本日はありがとうございました。

—閉会—

会議の経過を記載して、その相違のないことを証明するため、ここに署名する。

会長 久 野 時 男

座長 伊 豆 原 浩 二

委員 澤 田 昭 宏

委員 水 谷 隆